

平成 30 年 10 月 15 日

香川大学博物館 開館 10 周年記念
第 22 回企画展

「アルゼンチン—都市と地方の暮らしと音楽—」開催について

香川大学博物館では、第 22 回企画展「アルゼンチン—都市と地方の暮らしと音楽—」を 10 月 30 日（火）～12 月 1 日（土）の会期で開催します。アルゼンチンの首都であるブエノスアイレスと、北部のサルタ州およびフワイ州を中心とした地方の風景や、人々の生活を捉えた写真や動画、楽器や日用品を展示します。

会期中には、以下の行事を開催します。

① 第 67 回ミュージアム・レクチャー（ミュージアム・トーク）

「アルゼンチン—都市と地方の暮らしと音楽—」

日 時： 11 月 3 日（土）10：30～正午（予定）

場 所： 香川大学博物館展示室

講 師： 川端美都子 氏（香川大学経済学部准教授）

定 員： 20 名（参加無料）

申込方法： 事前に博物館宛にメールで予約（定員に空きがあれば当日参加可）

② レクチャー・コンサート「イスラエルから響くアルゼンチン・ユダヤの音」

日 時： 11 月 15 日（木）17：30～19：00

場 所： アイパル香川（高松市番町 1 丁目 11-63）

演 者： ブスケダ・エテルナ、川端美都子 氏（香川大学経済学部准教授）

対 象： 一般

定 員： 100 名（参加無料）

申込方法： a.music0115@gmail.com 「氏名・参加人数」をご記入の上、メールで予約

会 期 平成 30 年 10 月 30 日（火）～12 月 1 日（土）

休館： 祝日・日・月曜

※ 11 月 3 日（土・文化の日）、11 月 4 日（日）は特別開館します。

開館時間 午前 10 時～午後 4 時

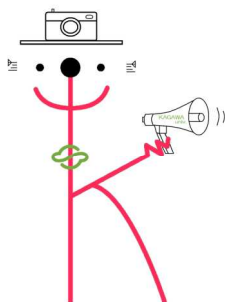
場 所 香川大学博物館（高松市幸町 1-1 香川大学幸町北キャンパス）

入 場 料 無料

協 力 香川大学経済学部川端研究室、フロレンシア・ルイス・レクチャー・コンサート実行委員会、ブスケダ・エテルナ公演実行委員会、Tiembla el Mohel

後 援 駐日アルゼンチン共和国大使館

※ 駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングなどをご利用下さい。



➤ お問い合わせ先

第 22 回企画展実行委員会委員長 川端美都子（経済学部准教授）

TEL：087-832-1831

e-mail：kawabata@ec.kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合 香川大学博物館

TEL/FAX：087-832-1300

E-mail：museum@ao.kagawa-u.ac.jp



開館10周年記念
香川大学博物館 第22回企画展

アルゼンチン

— 都市と地方の暮らしと音楽 —

期間

2018年10月30日(火)
~12月1日(土)

◆休館日：日・月曜日、祝日、
※11月3日(土)、11月4日(日)は
特別開館します。

◆開館時間：10:00~16:00
◆入館料：無料

会場

香川大学博物館展示室



Argentina

第67回ミュージアム・レクチャー(ミュージアム・トーク)



「アルゼンチン
—都市と地方の暮らしと音楽—」

日時 ▶ 2018年11月3日(土) 10:30 ~ 正午(予定)
場所 ▶ 香川大学博物館展示室
講師 ▶ 川端美都子 氏(香川大学経済学部准教授)
対象 ▶ 一般
定員 ▶ 20名(参加無料)

申込方法 museum@ao.kagawa-u.ac.jp

上記宛に、「お名前・参加人数」をご記入の上、Eメール
でご予約下さい。
先着順で受け付けます。当日の参加も可です。

レクチャー・コンサート

「イスラエルから響く
アルゼンチン・ユダヤの音」

日時 ▶ 2018年11月15日(木)
17:30 ~ 19:00 (17:00開場)
場所 ▶ アイパル香川(高松市番町1丁目11-63)
演者 ▶ ブスケダ・エテルナ
川端美都子 氏(香川大学経済学部准教授)
対象 ▶ 一般
定員 ▶ 100名(参加無料)

申込方法 a.music0115@gmail.com

上記宛に、「お名前・参加人数」をご記入の上、Eメール
でご予約下さい。
当日参加も可能ですが、満席になり次第、入場をお断り
することがございます。ご了承ください。



▲アクセスマップ



▲香川大学幸町北キャンパス

※駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用下さい。

お問い合わせ 香川大学博物館

〒760-8521 高松市幸町1-1 TEL/FAX:087(832)1300
<http://www.museum.kagawa-u.ac.jp/>
E-mail: museum@ao.kagawa-u.ac.jp

主催：香川大学博物館

後援：在日アルゼンチン共和国大使館



協力：香川大学経済学部川端研究室、フロレンシア・ルイス・レクチャー・コンサート実行委員会、
ブスケダ・エテルナ公演実行委員会、Tiembla el Mohel

第22回企画展実行委員会：川端美都子(経済学部准教授)、寺尾 徹(博物館副館長、教育学部教授)、
寺林 優(博物館長)、竹島雅美・河野裕介(情報図書グループ)

本企画展は、日本学術振興会・科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)「ディアスポラ」を離れたアルゼンチン・ユダヤ音楽家
に関する民族音楽的研究(研究代表：川端美都子)の成果の一部です。

PASEO PO TENÓ

de la
COLECTA



熱唱する
若者ユダヤ・ミュージシャン

南アメリカ大陸に位置するアルゼンチンの文化は、人々が熱狂するサッカーのようなスポーツや、哀愁漂うタンゴなどの音楽を通して、日本でもよく知られている。しかし、国土面積約280万平方キロメートル（日本の約7.5倍）を有するアルゼンチンでは、地理的また歴史的影響から非常に多様な文化が醸成されてきた。ボリビアと接する北部の山岳地帯では先住民文化が色濃く見られる一方、空の果てまで続くようなパンパ（平原地帯）では、放牧された牛馬の横で、 gauchoと呼ばれるカウボーイたちの暮らしが続いている。また、首都のブエノス・アイレスでは、19世紀末の移民がもたらしたヨーロッパ文化と現代文化が混在している。そこで鳴り響く音楽も例外ではない。先住民楽器でキリスト教行事を祝う音楽が山間に鳴り渡ると、ギターとボンポ（太鼓）のリズムに合わせた、gauchoに扮したダンサーたちの靴音が平原に響く。都会の目抜き通りの角でタンゴが聴こえると、廃工場を改造したクラブでは若者たちの熱いダンス音楽が朝まで続く…。本企画展では、18年に渡るアルゼンチンでのフィールドワークのなかで撮影された写真や動画、そして収集された楽器や日常品の展示を通して、多様な側面を持つアルゼンチン文化を紐解いていく。

ブエノス・アイレス

—移民がもたらした伝統と現在が交錯する都市—



廃工場をリモデルしたコネックス文化スペース



日本舞踊を披露する日系アルゼンチン人



伝統あるセルバンテス劇場(内部)

プロビンシア

—豊かな自然と先住民文化の息遣いが聴こえる地方—



フファイ州での聖週間(セマナサンタ)を祝う音楽演奏



アルゼンチンの南部スタイルのgauchoに扮したダンサー



サルタ州の街並み

展
示
内
容